

# 健康

## がんになると糖尿病悪化?



徳島大学糖尿病臨床・研究開発センター特任助教 田時 基行

**質問** 5年前から糖尿病になり、飲み薬で治療しています。最近、**臓器がん**が見つかり、進行しているため手術ではなく抗がん剤治療をすることになりました。がんになったら抗がん剤治療を行ったりすると糖尿病が悪化すると聞いたことがあり、心配です。今後の糖尿病治療についてどうすればよいのか教えてください。

**回答** がん治療に伴って糖尿病が悪化する理由と、その対処法について説明します。血糖値は「インスリン」というホルモンによって調節されています。インスリンは注射薬として用いられているために、耳にしたことがある方も多いかと思いますが、血糖値が上昇するのは①インスリン分泌が低下する②分泌されたインスリンが十分な作用を発揮できない(インスリンの効きが悪くなる)ことが原因です。インスリンは臓器から分泌されるために、臓器がんではインスリン分泌が低下して糖尿病の発症や悪化の原因となります。また、がんは血糖値の調節に重要な役割を果たす肝臓を障害したり、インスリン分泌や作用を阻害するサイトカインという物質群を分泌したりすることで、糖尿病の発症や悪化を招くことがあります。

## インスリン分泌が減少

がん患者さんの糖尿病治療で注意すべき点は①がんによる血糖値の過度な上昇②食欲低下や嘔吐によって糖尿病薬が効きすぎることで低血糖③抗がん剤の副作用による血糖値の過度な上昇が挙げられます。これまでに糖尿病がなかった方でも、がんにより糖尿病を発症することがあるので、定期的に血糖値を



測定するなどの早期発見のための措置が必要となります。

既に薬による糖尿病治療を行っている方では、がんに伴う食欲の低下や嘔吐により血糖値が予想外に下がり過ぎることがあるため、低血糖の症状(冷や汗、手の震え、動悸など)をあらかじめ知っておき、ブドウ糖を準備しておくなどの対策が必要になります。ブドウ糖は調剤薬局で無料でもらえますので、ぜひ相談してみてください。

抗がん剤の中でも特にステロイド薬の点滴や内服は血糖値を上昇させます。ステロイド薬服用を始める際には、糖尿病の検査を定期

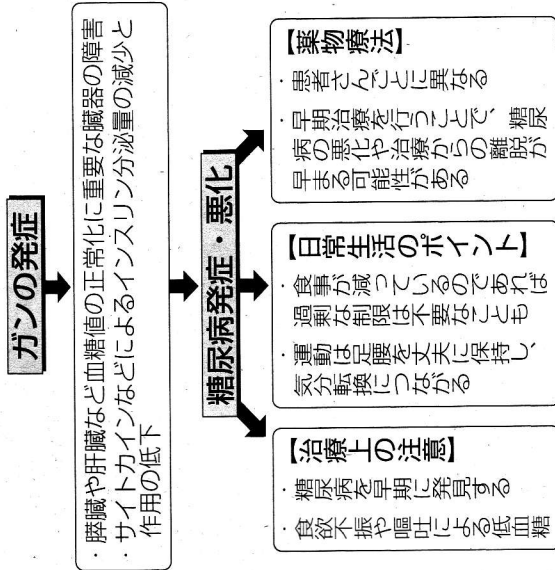
的にを行い、必要に応じて早期から治療を行う必要があります。

がんを患っている患者さんでは食欲が低下し十分な栄養を取ることができない場合があります。アイスクリームや果物などの甘い食べものは血糖値を上昇させやすいために、糖尿病の患者さんでは通常は摂取が推奨されません。しかし、食事が減ってしまうとよければ、取り入れた方がいいこともあります。

運動は厚着になるような過度なものは避けた方がいいですが、体調がいいときには散歩など適度な運動を積極的にいきましょう。足腰を支えに保つことができますし、景色を眺めながら散歩をすることで気分転換を行うことができます。

薬は、患者さんごとに病態が異なるため、一概に言うことはできません。内服薬のみでうまくいく方もいれば、インスリン注射が必要となる方もいます。抗がん剤などで一過性に血糖値が上がってしまった場合でも、早期に糖尿病治療を始めた方が、早く終了できることが多いように感じます。(第4土曜掲載)

◇  
がんに関する質問は徳島がん対策センター〈電088(6333)9438〉(平日午前8時半から午後5時まで)にお寄せください。〈<http://www.toku-gantaisaku.jp>〉でも受け付けます。



## 血糖値の乱高下に注意

- 【薬物療法】**
  - 患者さんごとに異なる
  - 早期治療を行うことで、糖尿病の悪化や治療からの離脱が早まる可能性がある
- 【日常生活のポイント】**
  - 食事が減っているのであれば過剰な制限は不要なことも
  - 運動は足腰を支えに保持し、気分転換につながる
- 【治療上の注意】**
  - 糖尿病を早期に発見する
  - 食欲不振や嘔吐による低血糖